

研究分野のキーワード：民俗学、近現代の地域生活史、海洋性の日本文化論、都市の自然と文化、現代と伝統

研究紹介

私は、日本の文化や歴史を民俗学という分野から研究を進めています。

民俗学というのは、私たちの生活の中に日本の歴史や文化を探るというものです。民俗学は、近現代の中で、ふつうの人たち—歴史の教科書に固有名詞として登場してくるような特定の人物ではないという意味でふつうの人たち—の歴史を研究する分野です。

現在の私たちの身の回りには歴史的に形成されてきたものがたくさんあります。それは伝承的なものとも言い換えられます。民俗とは（民族ではありません）、この伝承的なもののかたちのことです。伝承的なものというのは、私たちの生まれる前から受け継がれてきた知識や決まりごと、それらにもとづいた行動や生き方のことです。たとえば、年中行事や祭り、自然を相手に生きている人たちの生活や技術などのことです。そのほかにも私たちのまだ気づいていない伝承的なものが私たちの生活の中にはあるかもしれません。こうした伝承的なものを私たちの生活の中から、歩く見る聞く体験するといった手法で発見し、取り出し、その文化的・歴史的な特徴を考えます。

民俗学の中でも私の得意技は、現代の海に生きる人たちや都市で生活する人たちの歴史から組み立てた、日本の海洋文化論や都市文化論というものですが、大学の授業では幅広く、近現代の生活の歴史をとおした地域研究という立場からおこなっています。民俗学をもとにした地域研究の授業の特徴は、実際にその場所に行って地域の伝統的な産業や行事・祭礼などを見たり聞いたり体験したりして具体的にとらえて、自分の力で集めた資料を基本としながら、地域の歴史や文化を考えることです。

興味がわきましたら、私の書きました『漁民の世界 「海洋性」で見る日本』（講談社選書）を読んでみてください。



【私のフィールド調査から】

たとえば、このような人たちの暮らしから日本の歴史や文化を考えるというのが民俗学です。